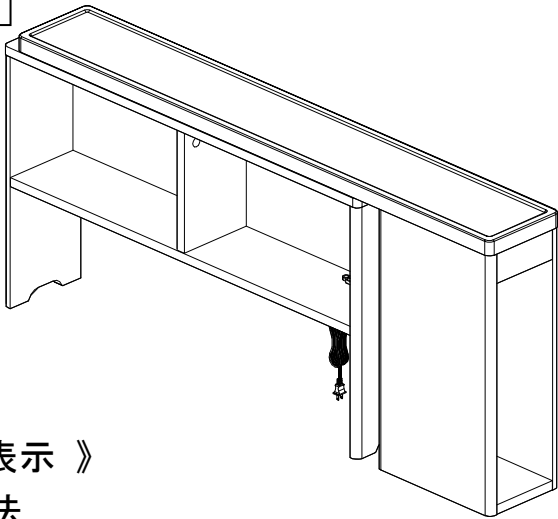


この度は、当製品をお買い上げ頂き誠に有難うございます。
◇正しく安全に御使用して頂く為に、この説明書をよくお読み頂いた上で組み立て、ご使用ください。
◇また、いつまでもご覧いただける様に大切に保管していただきますようお願いいたします。

《 取り扱い上の注意 》

- ◎腰掛けたり踏み台代わりにして乗らないでください。
- ◎立ち上がる時、テーブルに手をついて支えに絶対にしないでください。
- ◎傾斜、凸凹した床面は避け、平らな床面に設置してください。
- ◎組立て式ですので、使用中に各部ネジ、ナット類の緩みが発生する可能性があります。
緩んだままでの使用を続けますと、重大な事故につながる恐れがありますので、
一ヶ月に一度は各部ネジ、ナット類の緩みが無いか、安全にお使い戴くための点検を
お願いいたします。
- ◎高温多湿な場所や、直射日光が当たる場所は避けてください。
- ◎熱い物を天板の上に直接に置かないようにしてください。
- ◎表面の汚れは、柔らかい乾いた布で軽く拭いてください。汚れがひどい場合は、
水で薄めた中性洗剤で汚れをおとし、乾いた布でよく拭き取ってください。
シンナーやベンジン等は表面を傷めますので使わないでください。
- ◎正常なご使用をお願い致します。本品を所定の用途以外に使用しないでください。
- ◎商品を、フローリングや畳等の床の上で直接使用されますと、床材によって床表面に
傷や凹みができる場合がございます。床材に傷や凹みができないように、
カーペット等の厚手の敷物を敷いた上でご使用ください。
- ◎コンセントは、2か所の消費電力の合計が1500Wを超えない様に使用してください。
1500Wを超えて使用した場合、発火の恐れがあり大変危険です。

完成図



《 品質表示 》

外形寸法

幅約 1000～1400 × 奥行き約 150mm
高さ約 460mm

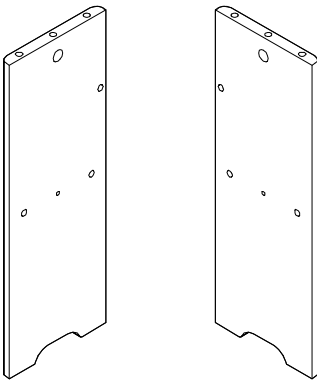
主材(表面加工)

塩化ビニル化粧繊維板(PVC)

表示者 株式会社 宮武製作所
大阪市東住吉区桑津 1-23-13
MADE IN TAIWAN

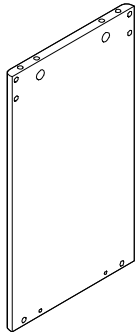
部 品 明 細

① 本体用側板



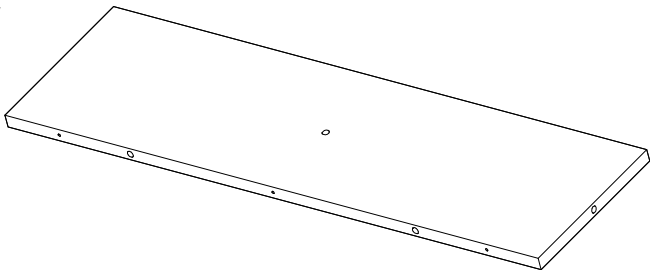
左1、右1

② 雑誌ラック用側板



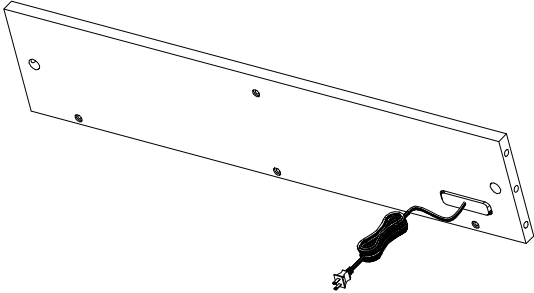
2

③ 本体用背板



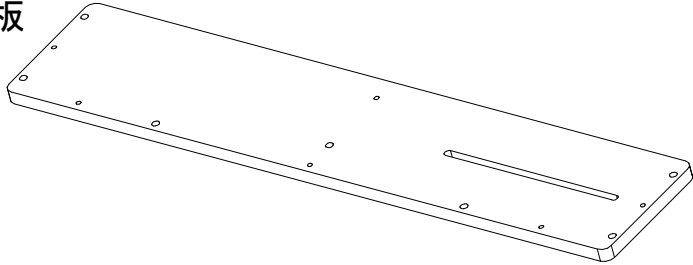
1

④ 本体用棚板



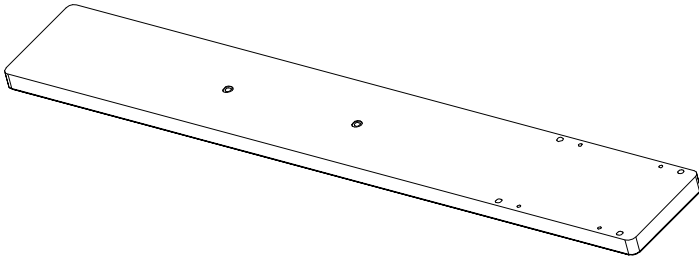
1

⑤ 本体用上板



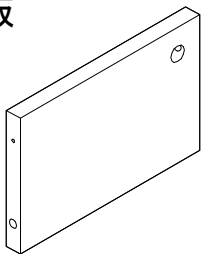
1

⑥ 天板



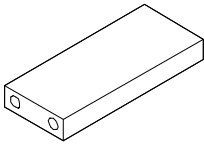
1

⑦ 本体用仕切り板



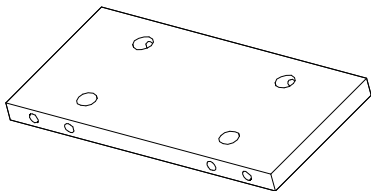
1

⑧ 雑誌ラック用補強板



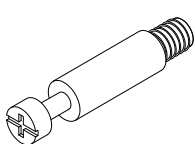
2

⑨ 雑誌ラック用底板



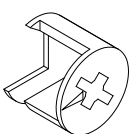
1

⑩ 固定用ボルト



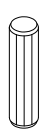
16

⑪ カムロック



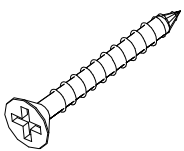
16

⑫ ダボ



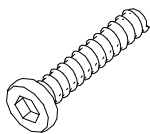
33

⑬ 木ネジ



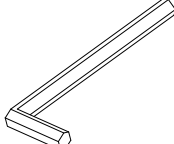
4

⑭ ボルト



1

⑮ 六角レンチ



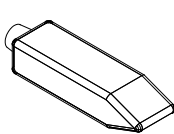
1

⑯ ワッシャ



1

⑰ ボンド



1

⑱ パッド



8

⑲ シール



1

- 《 組立順序 》
- 組立て前に部品が揃っているかご確認ください。
 - プラスドライバーをご用意ください。
 - 各部のボルトはゆるく仮締めして組立てし、組立て完成後にしっかりと締め付けると組立てやすくなります。
 - 組立ては、手袋又は軍手をはめて行ってください。
 - 組立は2人以上で、必ず平らな場所で行ってください。
 - 商品や床、周辺の家具等に傷が入らない場所で、柔らかいカーペット等の上で組立を行ってください。

1

●**◎** 本体用背板を図のように置いてください。
（板の下に傷がつかないように布等をひいてください。）

●**⑧** ボンドを穴に塗布して、**③** ダボを

◎ 本体用背板の穴に差し込んで、

◎ 本体用仕切り板の

方向に注意して

はめ込んでください。

2

⑧ ボンドを穴に塗布して、**③** ダボを **1** で組み立てた

◎ 本体用背板と**◎** 本体用仕切り板の穴に差し込んでください。

3

⑧ ボンドを図のように**◎** 本体用棚板のダボ穴に塗布して、

◎ 本体用棚板を **2** で組み立てた**◎** **◎** 板にはめ込んで、

④ 木ネジでプラスドライバーを使用して取り付けてください。

4

●**◎** 本体用側板を裏返して置いてください。
（板の下に傷がつかないように布等をひいてください。）

●**⑧** ボンドを穴に塗布して、**③** ダボを穴に差し込んで、**①** 固定用ボルトをプラスドライバーで図のように穴にねじこんでください。

●**⑨** パッドを図のように貼ってください。

5

⑧ ボンドを穴に塗布して、**4** で組み立てた**◎** 本体用側板を **3** で組み立てた**◎** **◎** 板の穴に差し込んで、補説の方法で**②** カムロックで取り付け

ください。

補説

② カムロックを差し込む時は、印が右にくるように回して、

プラスドライバーでこの▲印

を**①** 固定用ボルトに向けて

ください。

緩みにくくするために

▲印が止まる最後まで

きつく回してください。

最後までカムロックを回すことで、

使用中に緩みにくくなりますが、

組立て式ですので、定期的な各部ボルト

の点検をお願い致します。

6

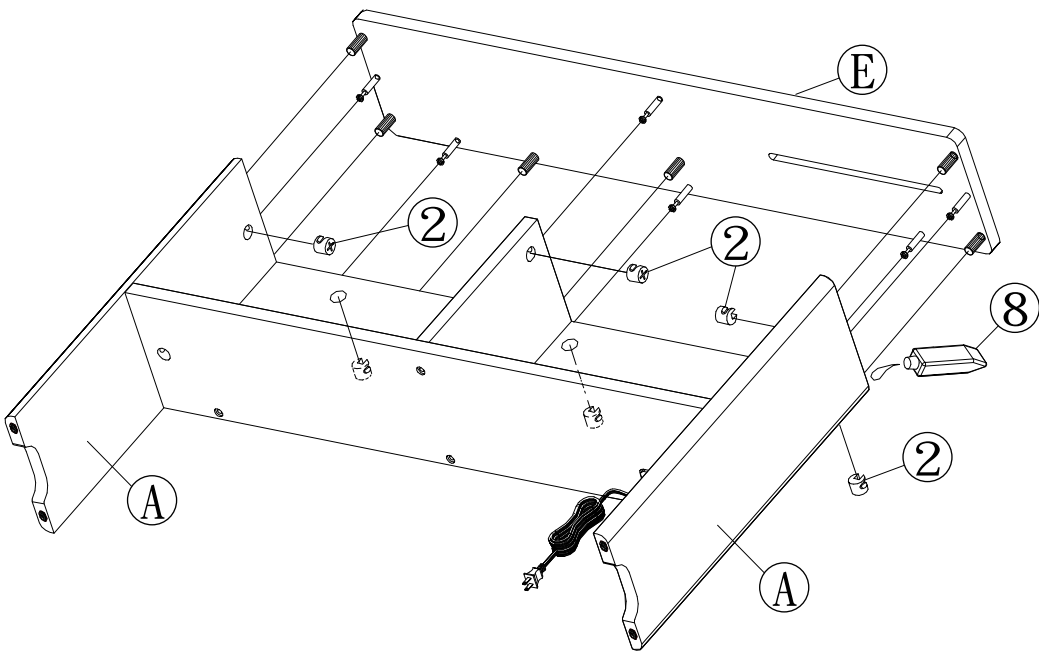
●**◎** 本体用上板を図の様に置いてください。
（板の下に傷がつかないように布等をひいてください。）

●**⑧** ボンドを穴に塗布して、**③** ダボを穴に差し込んで、

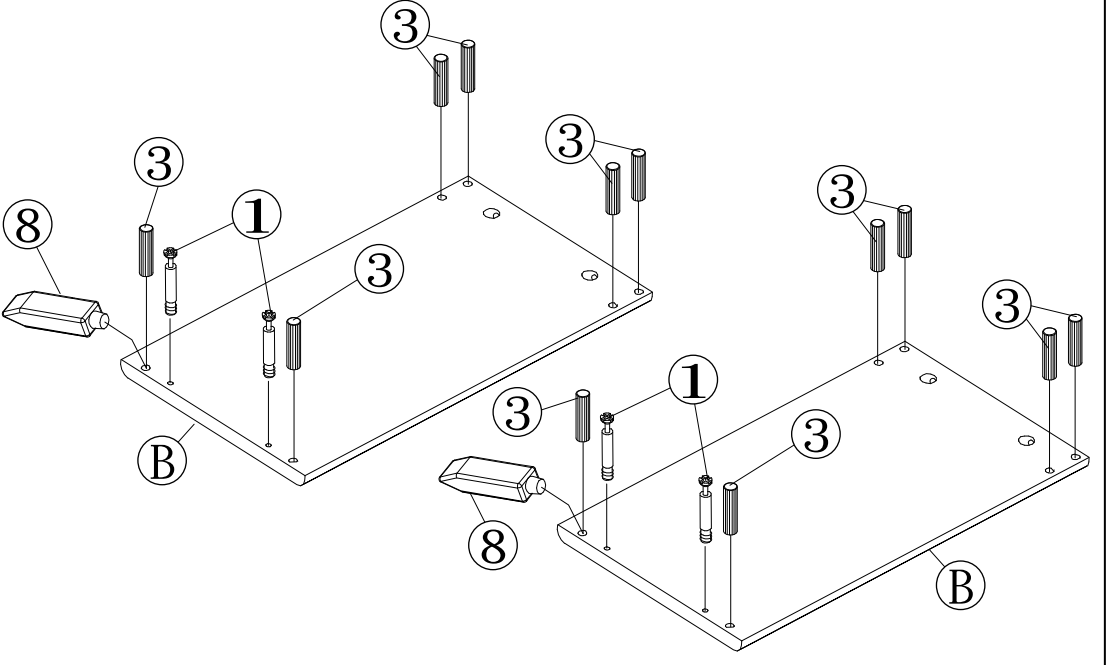
① 固定用ボルトをプラスドライバーで図のように

穴にねじこんでください。

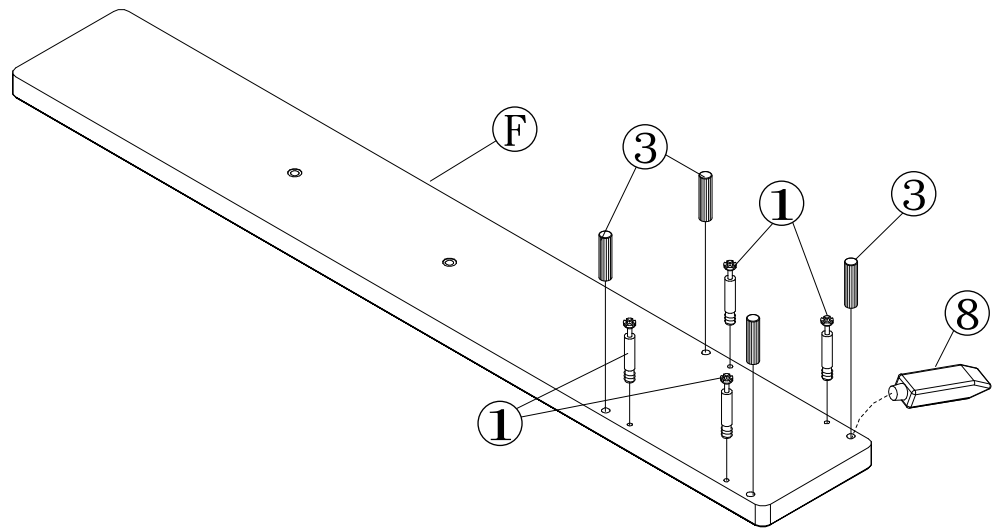
- 7** ●⑧ボンドを図のようにダボ穴に塗布してください。
●⑥で組み立てた**⑤** 本体用上板の方向に注意して、**⑤**で組み立てた本体に差し込んで、補説の方法で**②**カムロックで取り付けてください。



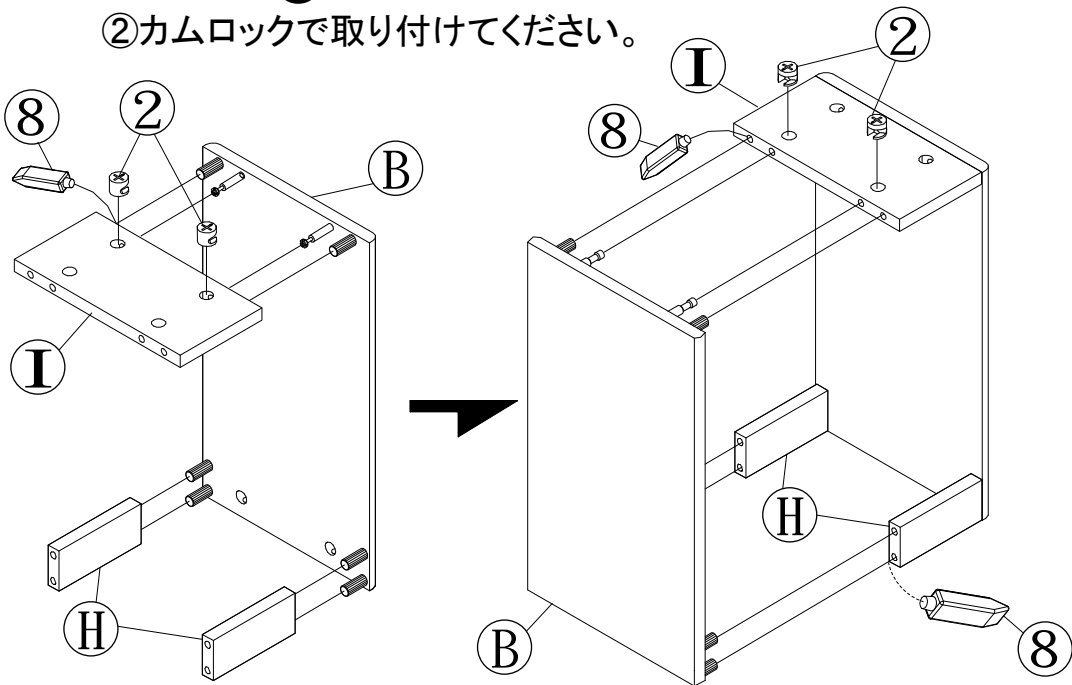
- 8** ●**③** 雑誌ラック用側板を図の様に置いてください。
(板の下に傷がつかないように布等をひいてください。)
●⑧ボンドを穴に塗布して、③ダボを穴に差し込んで、①固定用ボルトをプラスドライバーで図のように穴にねじこんでください。



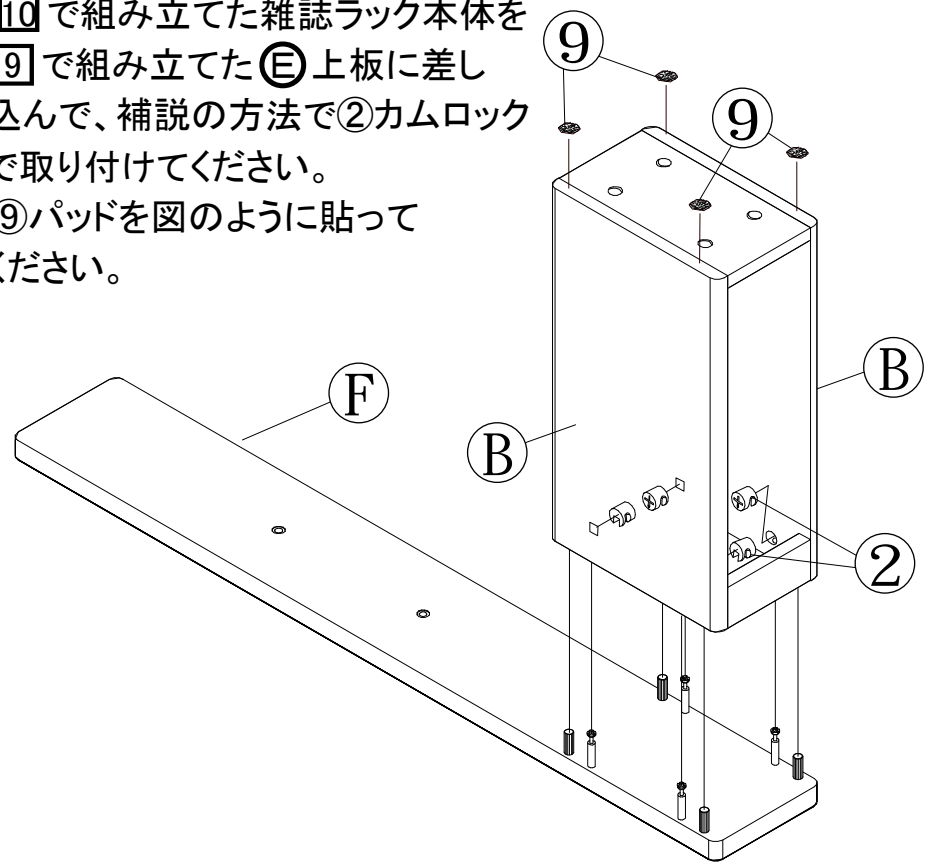
- 9** ●**⑦** 天板を図の様に置いてください。
(板の下に傷がつかないように布等をひいてください。)
●⑧ボンドを穴に塗布して、③ダボを穴に差し込んで、①固定用ボルトをプラスドライバーで図のように穴にねじこんでください。



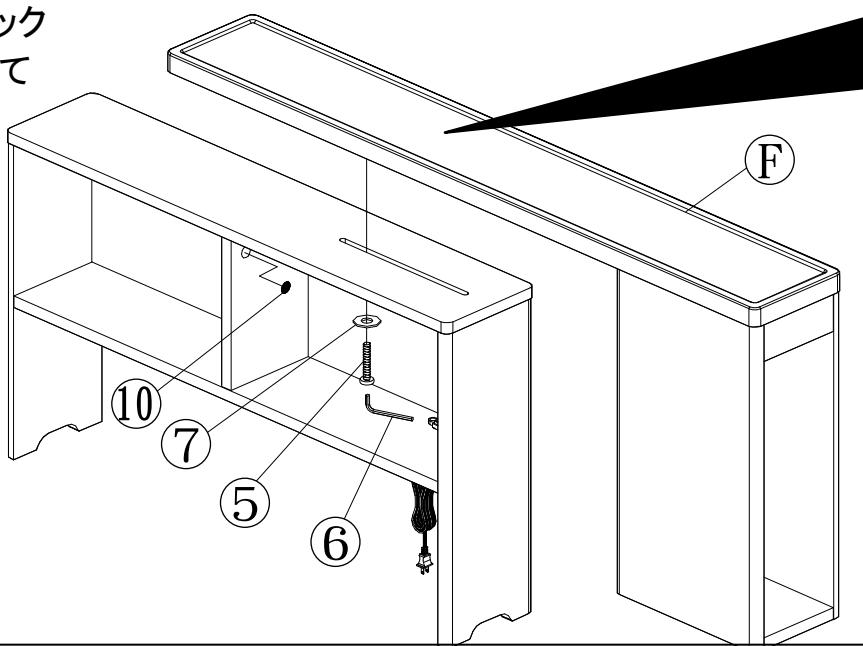
- 10** ●⑧ボンドを**①** 雑誌ラック用底板と**④** 雑誌ラック用補強板のダボ穴に塗布して、**⑧**で組み立てた**③** 雑誌ラック用側板 1 枚に差し込んで、補説の方法で**②**カムロックで取り付けてください。
●もう一枚の**③** 雑誌ラック用側板を図の様に差し込んで、**②**カムロックで取り付けてください。



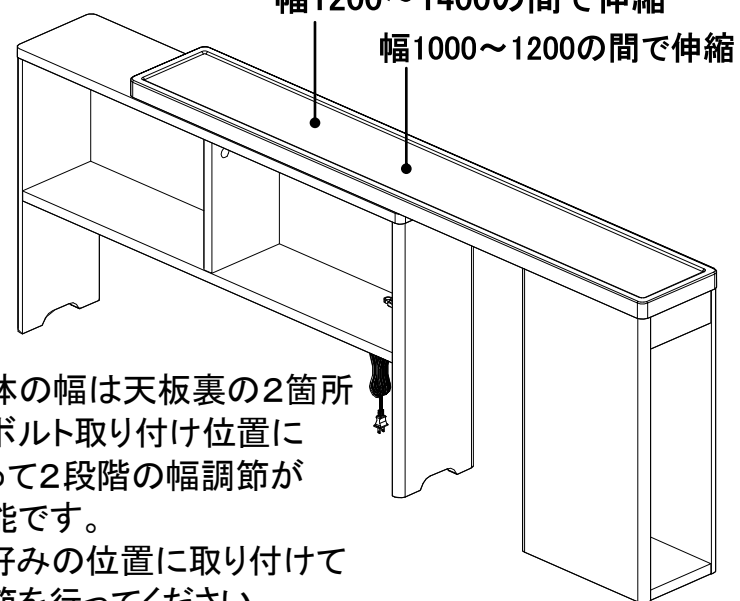
- 11** ●**⑩**で組み立てた雑誌ラック本体を**⑨**で組み立てた**⑤**上板に差し込んで、補説の方法で**②**カムロックで取り付けてください。
●⑨パッドを図のように貼ってください。



- 12** ●**⑪**で組み立てた雑誌ラックを起こして、**⑦**で組み立てた本体に乗せて、**⑤**ボルトと**⑦**ワッシャで**⑥**六角レンチを使用して取り付けてください。
●**⑩**シールを図のように貼ってください。



幅1200～1400の間で伸縮
幅1000～1200の間で伸縮



本体の幅は天板裏の2箇所
のボルト取り付け位置
によって2段階の幅調節が
可能です。
お好みの位置に取り付けて
調節を行ってください。